

# 「ペルポラビパッシン平和財団」創設

戦後、日本が成し遂げた目覚ましい復興の陰にど一人のアジア人が大きく関わっていた。1951年のサンフランシスコ講和会議の席上、「憎しみは憎しみによって止まらず、ただ愛によってのみ止む」というブッダの言葉を引用しながら日本を擁護。日本の国際社会への早期復帰を訴えたスリランカのジャヤワルダナ初代大統領がその人だ。この演説がなければ、最悪、占領国によって4分割される厳しい制裁もあったというから、まさに日本を危機から救った恩人だ。

ところが歴史は流れ、今の日本ではジャヤワルダナ氏を知る人はほとんどいない。その功績を広く発信しながら、日本とスリランカが協力して世界平和に貢献することを目的に、4月1日創設されたのが、スリランカ政府公認のペルポラビパッシン平和財団だ。ペルポラビパッシン氏は、スリランカを訪問された上皇さま(皇太子時代)、ペルポラビパッシン氏、ジャヤワルダナ大統領

## ジャヤワルダナ 初代スリランカ大統領の 功績を称える



左から上田英二理事長、ピヴィトゥル・ジャナック・クマーラシンハ駐日スリランカ大使、ペルポラビパッシン氏、高森裕己理事長



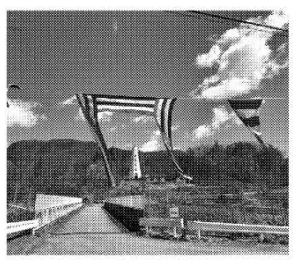
スリランカを訪問された上皇さま(皇太子時代)、ペルポラビパッシン氏、ジャヤワルダナ大統領

総裁のペルポラビパッシン氏は、ジャヤワルダナ氏の元側近で、現在はスリランカ政府公認のペルポラビパッシン平和財団だ。ペルポラビパッシン氏は、スリランカを訪問された上皇さま(皇太子時代)、ペルポラビパッシン氏、ジャヤワルダナ大統領

動に尽力している。1974年から奉仕活動を行い、日本政府関係者や著名人、社会福祉団体を始め、宗教団体からも多くの賛同を得ている。スリランカでは、個人で寺院、学校、施設に仏像を寄贈し、宗教、文化、教育活動に対して多大な支援をしている。また1981年、上皇さまご夫妻が皇太子時代にスリランカを訪問。これを記念して「日本スリランカメモリアル幼稚園」を設立した。他にも子供たちに無料教育を支援してお



灌仏会で講話するペルポラビパッシン氏



り、卒業生の数はすでに5万人以上に及んでいる。平和財団の活動としては、4月8日にはジャヤワルダナ氏の記念館の設立を計画している群馬県みなかみ町で釈迦の誕生を祝う灌仏会(花祭り)を開催。ピヴィトゥル・ジャナック・クマーラシンハ駐日スリランカ大使

も参加して、目標達成にむけて本格的にスタートした。「財団を通じてスリランカと日本の交流をさらに深めるとともに、将来的には宗派関係なしの国際墓や誰もが自由に集えるコミュニティホールを作っていければと思っています」(ピパッシン総裁)「混乱の時代の今こそジャヤワルダナ元大統領の思いを決して忘れることなく、世界の平和に貢献していきたい」(上田理事長)

ペルポラビパッシン平和財団の今後には大いに期待したいところだ。